

## 太子高校の挑戦 その 13

### 第 20 回全国高等学校 総合学科教育研究大会に挑戦!

本年度は、太子高校の「挑戦の年」と位置づけて「学力向上」「授業改善」に取り組んでいます。この通信で本校の取組みについてお話することで、太子高校の挑戦について知っていただければと考えています。

平成 27 年 11 月 12 日（木）～13 日（金）、茨城県のつくば国際会議場で開催された、「第 20 回全国高等学校 総合学科教育研究大会」に、兵庫県を代表して本校の教育実践を発表する機会に恵まれました。本校が参加した分科会のテーマは、「総合学科としての特徴的な取組・特色ある取組」。本校は、「総合学科で取り組む学力向上アクティブラーニング導入の試みー」と題して、主幹教諭がアクティブ・ラーニングの実践発表を行いました。

12 日に行われた文部科学省視学官の講演でも、アクティブ・ラーニング（AL）による授業がもたらす効果や、これからの高大接続においてそれがいかに重要な要素であるかが語られました。日本中で、アクティブ・ラーニングの授業実践を求められている時代になっていることを、改めて実感しました。当然、本校の実践にも大きな興味・関心が寄せられていました。発表会場は満員の盛況でありましたし、発表後の質疑応答も途切れることなく時間いっぱい続きました。質問できなかった先生方は、休憩時間にも個別に質問にいられていました。

質問項目は、①「太子高校のAL 授業実践が目指すものは何か」という理念に関するもの ②「職員研修の持ち方」「予習プリントの作成ポイント」「AL の時間配分」「10 人程度の人数での効果」という実際の授業等に関するもの ③「学力の定着度」「基礎学力とAL 授業との関連」「科目選択意識の変化」という授業効果に関するものの3つに分類することができます（この他にも質問はありましたが、紙面の関係で割愛しています）。いずれも、本校が試行錯誤しながら取り組んできた事柄です。本校でも、まだまだ明確な効果が現れていない項目もあり、すべての質問にきっぱりとした回答ができたとは言えませんでした。本校の実践を全国の先生方と共有することができたという、手応えの感じられた分科会になりました。

## ONE SHOT



登校が終わった後の自転車置き場です。整然と置かれた自転車の列が続いています。毎朝、立ち番の先生方が、少し乱れた自転車をきちんと揃えてくださっています。遅刻すれすれに登校した生徒は、どうしても乱雑に置きがちです。でも、帰るときにすっきりと揃えて置かれている自分の自転車に気づいて、何か心に感じるものがあるようです。校外学習の時、本校生の自転車の列が、一糸乱れることなく置かれることから、それが伺えます。先生方の、無言の教育効果ですね。ありがとうございます。

### 学校のカ・イ・ダ・ン

先日、3年次の生徒が、「部活に休まず参加できたことが、一番の思い出です。部長が一生懸命みんなを引っ張ってくれたので、自分も頑張れました。部長から、努力することの大事さを学びました。思い残すことはありません。」と話してくれました。

高校時代の出会いから学べたあなたも素敵です。